

2022年度 協定校派遣留学生による成果報告 ～2022年9月～2023年5月 アメリカ・ペース大学付属英語コース留学～

ペース大学付属英語コースへ留学した本学学生の報告を紹介します。
経済学部 佐藤晃太郎(2023年9月卒業)

- (1) 留学先:アメリカ・ペース大学付属英語コース(本学協定校)
- (2) 留学期間:2022年9月7日～2023年5月4日(約8カ月間)
2022年度第2学期・2023年度第1学期

(3) 学習内容:

前期は、ライティングの授業ではエッセイの書き方の基本的な部分、プレゼンなどを通してコミュニケーションやリスニング能力を養う授業、リーディングのスピードを上げるための授業、アメリカのカルチャーを学びながらスラングや、日常会話で使う表現などを学ぶ授業がありました。それぞれの授業で新しい会話表現などを教えてくれました。

後期は、少しアカデミックな内容になり、ライティングの授業ではより複雑で説得力のあるエッセイを書く練習をしました。コミュニケーションのクラスでは、ほぼ毎週プレゼンがあり、クラスイトに対して自分の意見を論理立てて説明する練習をしました。多くのビジネス英語の表現も学ぶことができました。リーディングの授業では、よりアカデミックな内容を大雑把に読む時と詳しく読む時を分けてそれぞれいかに早く読めるようになるように練習しました。今まで日本でやってきたこととは真逆の方法だったので大変ためになりました。そのほかにも、映画や音楽、コマーシャルを見ながらアメリカのメディアを通じて英語を学ぶ授業もありました。

(4) スケジュール:

月～木曜	
7:00	起床
7:45	出発
9:00～12:00	授業
12:00～13:15	ランチ
13:15～15:15	授業
15:30～18:30	課題 or 友人と会話
18:30～19:30	帰宅
20:00～21:00	夕飯
21:00～0:00	課題
0:00	就寝

金～日曜	
9:00～10:00	起床
～13:00	課題
～22:00	自由時間 (友達との外出、買い物など)
22:00～0:00	課題
0:00	就寝

(5) 留学費用: \$26,031(生活費約 \$4,500、学費約 \$13,000、ホームステイ費 \$8,531)
¥300,000(渡航費、VISA 申請など)

(6) 留学の趣旨・目的について

協定校留学は、本学に在学しながら協定校大学の授業を受けることにより、本学における学修活動をより充実させるとともに、現地で集中的に外国語を学修し、さらに当該国・地域の文化、風習、習慣について日常的に触れ理解を深めることにより、より高度な国際感覚を身に着けることを目的とします。

【留学の動機】

留学をしてとてもかっこよくなって帰ってきた兄を目標にしていました。ニューヨークには世界で一番多くの国から人々が集まってきていること、ペース大学は多くの国から留学生を受け入れていることもとても大きな理由です。

【留学の内容】学校・現地学生・宿舎の雰囲気、学習の進め方など

学生は異国の地に来ているだけに、フレンドリーです。それぞれがさまざまなバックグラウンドを持っていて、自分が一番仲が良かったコロンビアからの留学生は弁護士でした。それだけに話が長くて大変でした。現地学生はみんなすごくリラックスしているように見えました。キャンパスはとてもきれいです。トイレが故障にしろ、流し忘れにしろ、流れていないことが多々ありました。エアコン、暖房が極端に強いです。授業は先生によりますが、課題などが多く結構大変でした。日本と同じように授業を受けていると「空気」のような存在になってしまいます。

【研修成果】

スピーキング、リスニングは大幅に伸びたのではないかと思います。TOEIC をまだ受けていないのでわかりませんが、留学前より高得点は目指せるとは思います。クラブアクティビティに参加したかったのですが、想像以上に課題が多く参加できませんでした。ホームステイをしていたため、日本人は使うけれどアメリカ人は使わないような口語表現を教えてもらったり、祝日は親戚に会いに行ったりと常に英語が必要な環境に身を置けました。また、他の留学生からそれぞれの国のことを聞いたり、各国の料理を食べに行ったり、文化的な体験も多くなりました。

【身についた力】(語学力等の学修成果以外に学んだこと)

人間的に自分に自信を以前よりは持てるようになりました。また、ニューヨークでは、毎日予想できないことが起こるし、街も基本的に汚いし、うるさいし、臭いのが当たり前なので、いい意味で、周りの環境を気にしない、敏感になりすぎない力がついたと思います。

【滞在先について】

滞在形式:ホームステイ

良いホームステイ先でした。特にルールはなく、ホストファミリーは本当に優しくかったです。いい意味で、放置されていたので、自由に行動もでき、クリスマスやサンクスギビング、年始の行事には家族の一員のように参加させてもらいました。滞在先について悪いところは本当になく、強いて言えば若干キャンパスから遠かったくらいです。

【将来の展望】帰国後に描いている展望(進路希望や、将来の夢等)

目標としては、USCP(米国公認会計士)をとって会計外資への就職を目指します。その前に英語での就業経験が必要と考え、卒業後は、ワーキングホリデーに行くことを考えています。また、幸せな家族を持つことも夢の一つです。

【海外生活中に困ったこと・悩んだことと、それらの解決方法について】

宅配物が届かなかったので、頑張って電話しました。たまに地下鉄がアナウンスなしで、目的地を変えますが、そこは諦めて家に帰るのみです。授業後、現地の友達作りも含めて、英会話練習したかったので、日本語を勉強したい人を募集するチラシを作りました。課題が難しく大変だった時は友達と協力してアイデアを出し合って頑張りました。

【留学を考えている人へのメッセージ】

行くかいかないか悩むくらいだったら思い切って挑戦すべきだと思います。自分の周りで、何かリスクを冒してでもチャレンジした友人や知り合いで、留学に挑戦して、後悔した人を一人も見ることがありません。学生である今が一番チャレンジできる時期です。どんな形であれいい方向に向かうと思います。勇気を持った挑戦が必ず新しい世界を見せてくれます。頑張ってください！